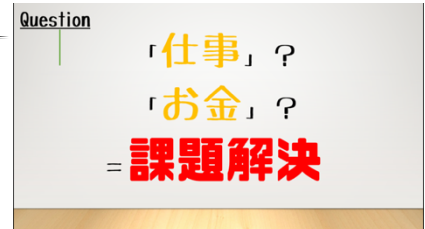


Service as Action (行動としての奉仕活動)

前号では・・・

① 「仕事の本質は課題解決」である



② しかし今の中学生が社会に出る頃、「言われたことを言われた通りにこなす」という単純な仕事（すなわち課題）は、ほとんど消えているだろう。



③ 「(今・これからの時代の)課題を見つけ出す力」と「それらを高いレベルで解決する力【課題解決能力】」を磨く必要がある。

④ ではそのスキル・・・学校で身につけるために具体的に何を??

そのための取組が

SA (奉仕活動) と

CP (コミュニティプロジェクト) です!



そんな内容を書かせていただきました。

そして、

「さあ、次号はSAについての説明を書こう。どう書いたらわかりやすいかな・・・」と私が思い悩んでいたところなんと！

1年生の学級通信でその説明をしてくれているではありませんか！！

そしてさすがは国語の先生、子どもたちにも非常にわかりやすく書いてくださっている・・・（この通信もよければ是非代わっていただけないだろうか・・・笑）

というわけで、ご本人の許可を得て、そのまま抜粋し転載させていただきますことにしました。

中学一年生の目線で読み進めていただければと思います。

以下、『柴崎麻衣子. 鹿追中学校1学年学級通信「全力投球」, 2024, 第36号』より抜粋

夏休みは「SA」に挑戦！

「一日一善」or「1 challenge」で充実の夏休みを!!

I B（国際バカロレア）の導入で中学校では様々な新たな挑戦が行われていますが、それは教科の授業だけではありません。総合の時間も従来とは一味違う取組が始まろうとしています。そのスタートが「SA」です。



I Bの学習者像ではみんなに目指してほしい姿が10個紹介されています。

「SA」と聞いたみんなからは「サービスエリア？（確かにこれもSA笑）」「スペシャルアトラクション？（なんだかずいぶん楽しそう♪）」と、色々な声が上がっていましたが、正しくは「Service as Action」の略です。

簡単に言うと、「人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界を良くするために行動できる人になろう！そのための第一歩を踏みだそう！」という活動です。

具体的には、夏休み中に「一日一善」か「1 challenge」のどちらかに、みんなに挑戦してもらいます。

・ **一日一善**…自分の周りの世界が変わりそうな、善い行いをしてみる。

例：地域のボランティア活動に参加する、目標を決めて街のゴミ拾いをするなど…

・ **1 challenge**…自分の何かが大きく変わりそうな新しいことにチャレンジしてみる。（それが周り回って誰かのために！）

例：アレルギー対応のレシピを考えSNSで発信してみる、何かのコンクールに応募してみる、地域の行事にお客さん以外の立場で参加してみるなど…

先週、今週と夏休みにどのような取組をするか、みんなに計画を立ててもらいました。

課題発見のためのヒントとなる視点は次のようなものがありました。

【課題発見のためのヒント】

- 地域のイベントを検索してみる。
- 中学校生活で不便なことから、自分の力で解決できそうなことを考えてみる。
- 家庭生活で不便なことから、自分の力で解決できそうなことを考えてみる。
- SNSなどを利用して、何を発信すると自分の周りの世界がより良くなるか考えてみる。
- 教科の学習からつなげることができないか考えてみる。

これらをもとに立てた計画から、夏休みにそれぞれ「一日一善」か「1 challenge」の取組に挑戦してもらいます。その取り組みの記録を夏休み明け、学年の先生との面談の際に提出してもらうこととなります。小学校でやったであろう「夏休みの自由研究」のイメージに近いかもしれません。

記録のつけ方は、以下を参考にしてください。

【SA 記録の提出方法（この3つの中からどれか選択する。）】

- ・紙で出す。（レポートやポスターを作成して出す。手書きでもデジタルでもOK。）
- ・スライドを作る。（活動の様子の動画や写真を集め、スライドにまとめて見せられるようにしておく。）
- ・SNSでの活動の形跡を記録する。（スクショしておくなど、活動したことが分かるように記録を残す。）

【SA 面談で説明できるようにしておいてほしいこと】

- ① 自分が行った取組の紹介（取組を通してできたこと）
- ② その取組を通して、自分は何を得たか。
（自分にとってプラスになったこと、自分の周りの世界にとってプラスになったこと、どちらでもOK）
- ③ その取組を通して、自分自身がどう変わったか。
- ④ 今後、どのような活動をしていけそうか。

みんなは1年生、2年生とSAに取り組み、集大成として3年生でCP（Community Project）に挑戦します。CPはSAによりじっくりと、時間をかけて取り組むイメージです。CPでは、自分たちで見つけた課題について、解決のために計画・行動し、その成果や課題について発表をしてもらいます。

詳しくは追々伝えていきますが、私はCPの説明を聞いて、「大学の卒論研究みたいだな…。これを中学生で挑戦したら、すごくいい経験になるだろうなあ！」と思いました。

まずはこの夏、SAとしてそれぞれの「一日一善」「1 challenge」に挑戦してみましょう。全力でやれば、きっとみんなの夏休みがより充実した楽しいものとなるはずです。そして、夏休み明け、一回り成長した姿を見せてくれることでしょう。計画の時点でおもしろい発想がたくさん生まれていたのも、夏休み明けのみんなの報告を楽しみに待っていますね♪

以上、鹿追中学校1学年の学級通信でした。SAについてご理解いただけたでしょうか。

この夏休みも子どもたちがそれぞれに決めたSAの取り組み【一日一善・1 challenge】を進めてくれていることと思います（3年生はCPの取組です）。

この取組は始まったばかりなので、まだまだ拙い内容も多いかもしれませんし（反対に壮大になりすぎていたり、危険を伴う様子があればご家庭の判断で適宜お子様へアドバイスいただければ

幸いです)、やらされ感を伴う様子も見られるかもしれません。
しかしこの活動は

課題発見→調査→計画→実行→反省&改善→課題解決

という、社会における**「仕事（課題解決）のプロセス」**を基本としており、それ繰り返す中で生徒たちが得る経験値は大きなものだと思います。

また、「自分本位」ではなく「誰かの為」を考えて行動してみることが自分がこの先進みたい道の「やりがい」についてのヒントを得ることにもなるのではないのでしょうか。

何事も「やった方がいい」から実際に「やってみる」までの障壁は大きなものです。その機会を作り、また継続し習慣にしていくのがSA実施の目的の一つです。

この取組を通して前段の**課題を見つけ出す力**と

それを高い質で解決する力【課題解決能力】、何より、

身の回りの人を大切に思う心を磨いてほしいなと思います。

子どもたちが実際にSAでどんなことに取組んだのか、またCPについてのご紹介はまたの機会に。

暑い日が続きますが、どうぞご自愛ください。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

バックナンバー	概要
鹿中 IB 通信 NO.1 ↑クリックするとアクセスできます。	この通信の趣旨や 国際バカロレアとは何か? について書いています。
鹿中 IB 通信 NO.2	年度当初に行った生徒向けの IB オリエンテーションについて書いています。 当日の動画や資料も見られます。
鹿中 IB 通信 NO.3	こちらは保護者向けの IB オリエンテーションと、同日行われた 参観授業（国語）を IB 視点で解説 しています。
鹿中 IB 通信 NO.4	参観授業紹介第二弾です。理科の授業の内容を 《概念》 と絡めて書いています。
鹿中 IB 通信 NO.5	参観授業紹介ラストです。社会と保健体育の授業の内容から 《IB で知識の定着にかける時間が減る問題》 に対する工夫について紹介しています。
鹿中 IB 通信 NO.6	IB 教育の大きな柱である ATL スキルと 10 の学習者像 とはどういったものかについて、 道徳の授業実践 を元に解説しています。

<u>鹿中 IB 通信 NO,7</u>	十勝毎日新聞の記事になったというお話と、1学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,8</u>	子どもたちが「総括的評価課題」に取り組む様子の紹介と、2学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,9</u>	「SA」「CP」についての説明の前段としてのお話と、3学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。